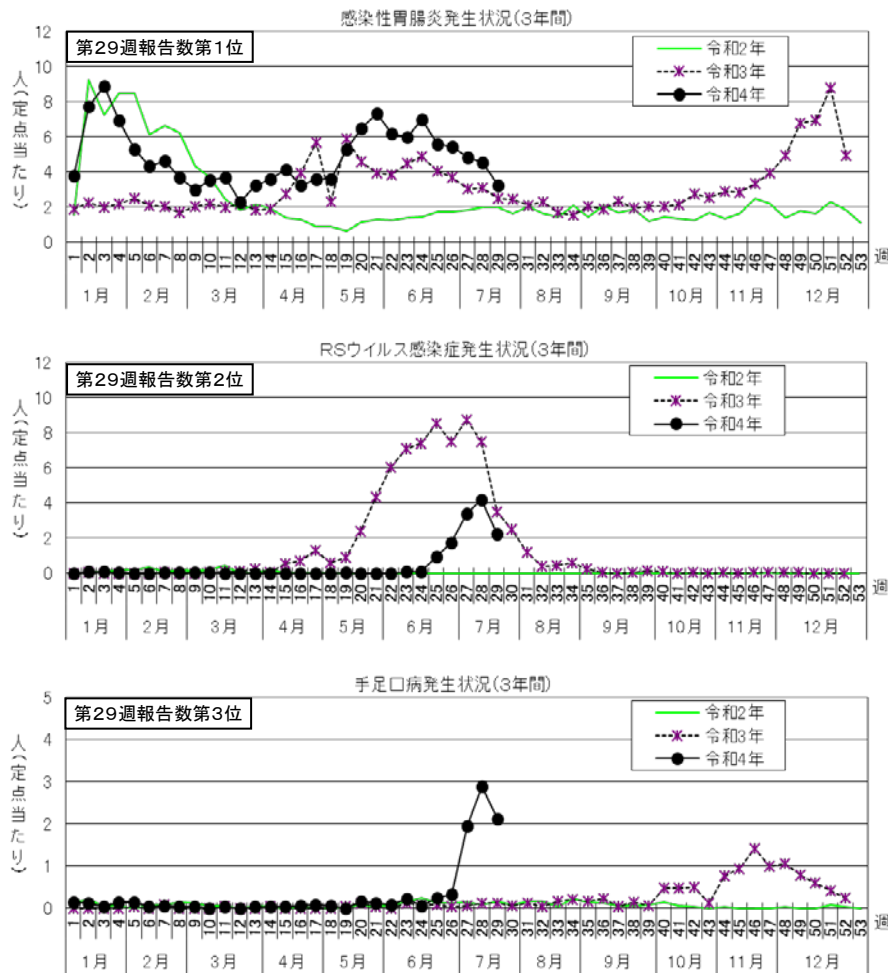


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年7月18日（月）～令和4年7月24日（日）〔令和4年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 手足口病でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.22人と前週（4.42人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.24人と前週（4.14人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.83人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



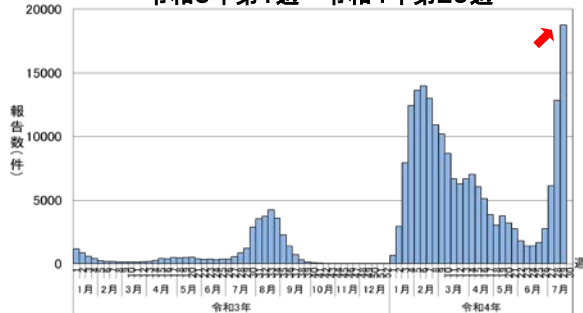
新型コロナウイルス感染症～報告数が流行開始以来最多に～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第29週（7月18日～7月24日）に18754件となり、第6週（2月7日～2月13日）の13960件を大きく上回り、過去最多を更新しました。

現在の流行の主流であるオミクロン株は、従来株と比べ潜伏期間と発症間隔が短いことから、令和4年7月22日から濃厚接触者の待機期間が原則7日間から5日間へ短縮されました。さらに、待機期間の2日目及び3日目に抗原定性検査で陰性を確認した場合は、3日目からの待機解除が可能となりました。

待機期間は短縮されますが、患者との最終接触日から7日間経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認、高齢者や基礎疾患を有する方との接触は控える、マスクを着用するなどの感染対策を継続しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の発生状況
 -令和3年第1週～令和4年第29週-



新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の待機期間

